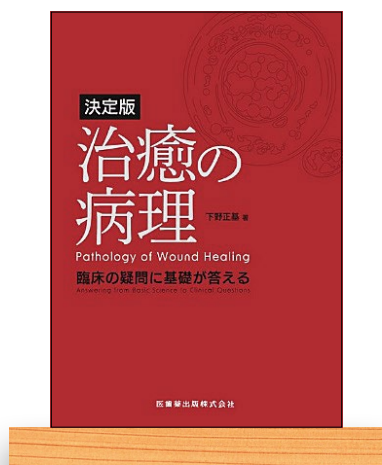


不朽のロングセラー， 盤石の大改訂！



決定版 治癒の病理

臨床の疑問に基礎が答える

下野正基 著

A4判/592頁

定価 33,000 円（本体 30,000 円＋税 10%）

医歯薬出版（2022 年 7 月）

K's seminar 主宰

評・井上 和（歯科衛生士）



私は臨床だけではなく歯科衛生士教育にも携わっており、「うちの医院の歯科衛生士たちに SRP を教えてください」と依頼を受けることがあります。そんなとき、最初に歯冠と歯根だけが描かれたプリントを渡し、「ここに歯根膜、セメント質、歯槽骨、歯肉を描き加えて、歯周組織の絵を完成させてください」と伝えます。しかし、残念ながら正しく描ける歯科衛生士は多くありません。歯周組織がどうなっているのかを知らずに、歯周病を治すことはできるのでしょうか？ そもそも、どんな状態を「治った」というのでしょうか？ 皆さんは、答えられますか？

プローブで歯肉溝付近を突けば“歯周病検査っぽく”なるでしょう。また、超音波スケールで歯頸部付近をこすっていけば、“歯周治療をしているっぽく”なるかもしれません。し

かし、基礎を知らずに処置を続けていても、“歯科衛生士っぽい人”にしかたれないのです。基礎知識がない歯科衛生士の SRP など、泥の上に家を建てる大工のようなもの。軟弱な土台にビルは建ちません。建つのはせいぜいテントでしょう。基礎を疎かにしていたら、いつまでも経ってもテント暮らしの歯科衛生士にしかたれないのです。

まさに、本書のテーマである病理こそがその土台となるものです。歯周治療で突き当たる多くの疑問は、病理と日常臨床を結ぶヒントが書かれた本書を読めば解決できます。本書は 500 ページを超える大著であり、通勤電車で広げられるようなものではありません。百科事典のように書棚に常備し、疑問が生まれたときに立ち返るものです。一見ヨーロッパの古書のように高貴で重々しい装丁ですが、ページを開けば、わかりやすいフルカラーのイラストと多くの写真がやさしく迎えてくれます。病理像は組織に対するイメージを膨らませ、模式図で理解を深め、症例写真が臨床に応用するための勇気を与えてくれます。「治療するとこうなるんだ」「こうすればいいんだ」と、ゴールを明確に示してくれるのです。

加えて驚くのは、これでもかと広く深く網羅する情報量です。「なぜ歯肉が腫れるのか」「発赤はなぜ起こるのか」「どのようなしくみで骨が吸収するのか」など、臨床で生まれる疑問の答えがここにあります。歯周組織で何が起きているのかを知ること、根拠をもって歯周病を治すことができるようになります。皆さんも疑問をそのままにせず、ぜひ本書を読んで解決してください。臨床の疑問に基礎のエキスパートが答えてくれます。そして、何度も本書を開き、疑問を解決していけば、気づいたときにはあなたは歯周病をきちんと治せる、本物の歯科衛生士になっているはずです。